

まるで、ろう細工。  
蠟梅の花。



グリーンパーク日本庭園にて

透きとおるような花びら、  
淡い黄色の花と芳醇な香り

ロウバイ

ウメよりのひと足先に早く花を咲かせ、春を予感させる花・ロウバイ。  
ウメ（梅）の名がついているが、ウメの仲間ではなくロウバイ科の仲間、中国中部原産。日本には、江戸時代初期の後水尾天皇（千六百一十一〜千六百二十九年）の時代に朝鮮半島から伝わったとされています。

玉梅（梅のこと）、茶梅（山茶の椿のこと）、水仙とともに雪の降る時期に咲く雪中四友（せきちゆうしゆう）として有名。

※雪中四友とは宋・元の時代より、真冬の寒中に花を咲かせる四種類の植物のことを指す。日本には江戸時代初期に伝わった。

## ロウバイの特徴

落葉低木で高さ三メートルくらい。幹は密に分枝し、葉は対生。冬から早春にクリーム色で小型の蠟のような黄色の花が開き、やさしい甘い香りが漂う。

英名はウィンタースイート。

花色：ロウバイ（蠟梅）→黄色で内側の花被片は暗紫色。変種のソシンロウバイ（素芯蠟梅）→黄色で内側の花被片は暗黄色。

※素芯とは「同じ思い」、「色の変化がない」などのことをいい、本来黄と緑以外の色を含まないことをいう。

## 栽培法

日当たりを好むが西日は嫌う。また、強い風は避けたほうがよい。排水のよい場所に植えつける。病虫害も少ないので育てやすい。剪定は花後に行う。

芥川龍之介が  
愛した花



蠟梅や雪うち透かす  
枝の竹

蠟梅や梅まばらなる時雨ぞら

花を愛でる芥川。  
少々意外性があるよう  
にも感じられる。

## 名前の由来

- ①学名の *Chimonatus praecox* は「早咲きの冬の花」の意で、まさに冬に咲く花木の代表種。
- ②漢名では「蠟梅」または「臘梅」と書き、「ラー梅」、「ラメイ」の音訛り。
- ③黄色の花弁が蜜蠟に似ていて、それが小枝いっぱい咲く風情が梅を連想させるからともいわれている。また、陰暦一二月を蠟月といい、この頃に花を咲かせることから。古名は、空梅（からうめ）、別名南京梅（なんきんうめ）・唐梅（たううめ）・黄梅（くわばい）
- ④誕生花：1月21日 花ことば：慈愛、温かい心